

選挙公報掲載文原稿用紙

PROFILE

深澤 陽一 ふかざわよういち

静岡市清水区興津生まれ（49歳）

清水市立興津小学校・中学校 卒業

静岡県立清水東高等学校 卒業

信州大学工学部 卒業

大学卒業後、衆議院議員の秘書を経て

2005年より静岡市議会議員（2期）

2011年より静岡県議会議員（3期）

2020年より衆議院議員（3期目）

2021年 厚生労働大臣政務官

2022年 自民党財務金融部会 副部会長

2023年 外務大臣政務官

2025年 自民党文部科学部会 部会長

妻と息子、娘の 4人家族

身長 185cm 体重 81kg 血液型 B型

好きな食べ物はサラダ・野菜・アジフライ・甘いもの

子供の頃からスポーツが好きで、

ソフトボール、卓球、バレー、硬式野球、ボクシング、

スケルトン、サッカーとさまざまなスポーツを経験。

静岡市議会議員、静岡県議会議員を経験し、

2020年 4月、望月義夫衆議院議員の遺志を継承し、

衆議院議員補欠選挙にて初当選。現在まで 3期。

2023年から外務大臣政務官、

2025年からは自民党文部科学部会会長として活動。

「まずは聞くことから」をモットーに、日本の未来、

ふるさとのまちづくりに取り組んでいます。

責任ある積極財政で 強く豊かな日本を

3年以上にわたって責任ある積極財政議連で政策実現に取り組んできました。コストプッシュ型インフレからデマンドプル型に移行するまでは国による財政出動が必要。経済成長こそ課題解決の道です。

教育・子育て支援の 転換点

いわゆる高校無償化で予想される公立高校の定員減。少子化も踏まえた高校再編が避けられません。社会はDX、AI等理系の基礎知識が必然であり、文系理系を区別しない文理融合教育を目指します。

富士川地区の 市民力をモデルに

地域公共交通対策に独自の取り組みを実施。またマラソン大会のための施設整備や日常での活用の提案、スポーツツーリズムの誘致等、富士川地区の市民による事業化を後押しします。

物価高対策に奔走

ガソリン・軽油減税、電気・ガス料金への支援、地方交付金の増額、公的病院等への支援、米不足に対する備蓄米の活用等に取り組ましましたが、現場での不足感に対し引き続き取り組みます。



地元の声を力に変えて、
今こそ静岡から、
魅力ある強い日本を
つくっていく！

富士山を 世界のあこがれに

もっと多くの方々に富士宮からの富士山を愛でてもらいたい。その為に東海自然歩道、棚田等の整備・活用、食を通じたPR、インフラ整備による渋滞緩和対策、民間投資による活性化に取り組めます。

国土強靱化を さらに加速

これまで8年にわたって国土強靱化に取り組みましたが、能登半島地震等まだまだ対策が必要。今後5年で20兆円超の事業費で必要な対策を実施。地元では水門、防潮堤、治山治水等に取り組めます。

外交・安全保障の 重要性が高まる

外務大臣政務官として活動し、グローバルサウスと呼ばれる国々の存在が大きくなっていることを実感。世界が複雑化する中で、一国でも多くの理解を得て、多国化主義で日本の安全を守り抜きます。

清水港に新たな魅力

新興津地区を延伸した大型パルプ船への対応、人工海浜・小型船だまりの整備、江尻港周辺の再開発、日の出地区の観光化に加え、三保半島を国際海洋研究拠点として新たな魅力を生み出します。

強い経済！強い外交！安全保障！

成長と
豊かさを
実感に

成長は絶対成し遂げられる！
責任ある積極財政の考えのもと、
世界に頼られ憧れられる日本をもう一度取り戻す。
未来を担う皆さんが日本に大きな誇りを感じ、
社会を変える原動力となる成長をはぐくみ、
豊かさを実感できる日本に。



49才

ふかざわ陽一

よういち

自民党公認



ふかざわ陽一



@fukazawayoichi



fukazawa_yoichi

HP / fukazawayoichi.jp



深澤陽一